

輝け！シン尾花沢中

真理のとびら うちひらく 希望にもえる わが学園

タイトルデザイン
教育指導室
伊藤瑞稀さん

おばなざわ徳良湖まつりを盛り上げたボランティア隊②

前回に続き、ボランティア隊の振り返りを紹介します。

吉田真凜さん：今回、ボランティア活動を通して、笑顔で積極的に声をかけることができました。雪まつりボランティアでは緊張して声をかけることがなかなかできませんでしたでしたが、今回は自分から笑顔で声をかけることを心がけました。少しずついろいろな人と話していくうちに緊張感が和らぎ、落ち着いて話すことができました。また、ろう者の方とコミュニケーションをとることを頑張りました。私は、パンフレットを配布する作業中に、ろう者の方と出会いました。「Silent」というドラマを観ていたので、ろう者の方が手話で「ありがとう」と伝えてくださったことは分かりましたが、それ以外は全く会話ができませんでした。それがとても心残りで、今後手話について勉強しようと思えました。次は、手話を通してろう者の方々とたくさん話すことができるよう頑張ります。



木内亮太さん：今回、ボランティア活動に参加する中で、お客さんに「ありがとう」と言っただき、さらに働きたくなりました。また、僕たちは午前中3時間ほどの作業でしたが、毎日もっと多くの時間働いている大人はすごい、と思いました。今後は、自分も大人のように誠実に仕事をしたり、人と関わったりできるようにしていきたいです。

菅野胡杏さん：ボランティア活動に参加して、人と関わる力、コミュニケーション力が向上しました。私は初対面の人と話すとき、とても緊張してしまうため不安でしたが、一緒に活動を行ってくれた友達や運営者の方のおかげで楽しく参加することができました。私は、パンフレット配布を手伝いましたが、「どうぞ」「大丈夫ですか」と声がけするのが難しかったです。でも、「ありがとう！」と感謝の言葉をもらったときはとてもうれしかったです。今回、子供からお年寄りまでの様々な年代の方々と関わることができました。人と関わることを苦手としている私でも、ボランティア活動に参加することで自分を成長させることができました。生徒の皆さんには、ぜひ、ボランティア活動に参加してほしいです。

鈴木麻理亜さん：徳良湖マラソンで、エイドステーションを手伝いました。食べ物を用意するときに饅頭の包装がなかなか解けなかったり、多くのランナーが押し寄せてきたりと大変でしたが、何度もエイドステーションに足を運んでくださる方もいて、楽しんでもいただきよかったです。また、ティラノサウルスの着ぐるみ体験会場の受付では、参加者への説明や会計、案内ととても忙しかったのですが、やりがいがあり楽しかったです。ボランティアは運営目線でイベントを見ることができとても面白いと思います。これからもボランティアに積極的に参加し、人生経験を積んでいきたいと思っています。



ボランティアでの多くの人とのかかわりが、自分の夢や志につながったようです。

明日も、ボランティア隊員の振り返りを紹介いたします。 【文責：校長 工藤雅史】